

■ 講演・フィールドワークショップ『奥日光の森はどのように形づくられてきたか』

ー自然を活かした国際観光地づくりに向けてー

講師：大久保達弘（東北農林専門職大学教授・宇都宮大学名誉教授）



奥日光の森林はその地域の景観生態基盤を特徴づけている重要な要素です。明治時代以前から森林伐採等を含む様々な人為的攪乱が繰り返されてきましたが、その実態は不明な点が多いです。明治時代以降、写真、地図、群落調査などの資料が飛躍的に蓄積しており、視覚的定量的な理解が可能になりました。本講演では、これらの資料に基づいた奥日光での樹木・森林植生の人為的攪乱の影響について時空間的な把握を試み、今後の奥日光の森林の取扱い、国際観光地としての資源づくりに向けて若干のコメントを行います。また、森林フィールド（日光演習林戦場ヶ原地区に新設された遊歩道）を歩きながら受講生の方々とのフィールドワークショップ（新設遊歩道を生かしたアクティビティプランニング）を予定しています。

■実施日時：2025年10月10日（金） 10:00～15:00

10:00～12:00 講義（日光自然ふれあいハウス実習室）

12:00～13:00 昼食（日光自然ふれあいハウス食堂）

13:00～15:00 現地踏査（日光演習林戦場ヶ原地区）

■実施場所：宇都宮大学日光自然ふれあいハウス

（宇都宮大学日光演習林戦場ヶ原地区）

住所 〒321-1661 栃木県日光市中宮祠3168

> アクセス：日光宇都宮道路清滝ICから21Km（20台駐車可）

日光駅から湯元行東武バス65分・赤沼バス停から徒歩5分

■持ち物：昼食、飲料、作業用手袋、ザック・デイパック、タオル、トレッキングシューズ、学習用具（筆記具など）
アウター（雨具併用可）

■定員：30名

■参加費用：無料（保険等は各自でお入りください）

■参加申込URL（締切10月3日）：<https://forms.gle/FafdM9jCviSVy5Sc9>

■主催：宇都宮大学地域経営研究会／共催：宇都宮大学農学部附属演習林

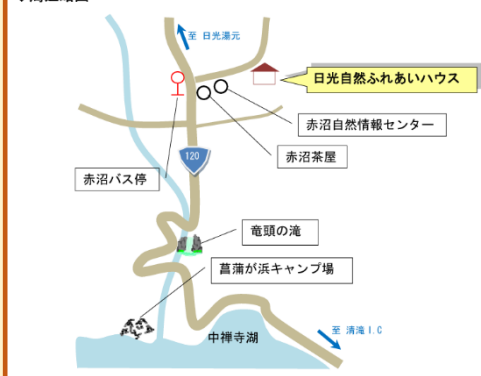
■問合わせ先：

宇都宮大学地域創生推進機構社会共創促進センター

〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350

TEL: 028-649-5502 E-mail: nnc-uu@a.utsunomiya-u.ac.jp

◆周辺略図



【参加申込 QR コード】

